# ★ 南島原市ニュース

平成30年1月17日

報道関係各位

南島原市・西南学院大学博物館連携特別展 「島原大移住—戦乱の終わりから復興へ—」

このたび、南島原市では、平成29年度南島原市・西南学院大学博物館連携特別展「島原大移住—戦乱の終わりから復興へ—」を開催します。この特別展は、島原・天草一揆後の農民移住をテーマにしています。

本特別展は、島原・天草一揆後の人びとの移住に着目し、一揆後、島原と 天草がどのように復興を遂げていったのかを、26点もの古文書や絵図から紹 介します。いわば「南島原市のルーツ探し」の展覧会ともいえます。これま で、島原・天草一揆後の移住をテーマにした展覧会は開催されておらず、関 連する資料を一挙に公開する点で、学術的にも興味深い展示となっておりま す。

平成28年度に南島原市で発見された「阿波郡新開見付之帳」と「南蛮流医薬書」も初公開し、これまでの研究成果を市民の皆様へ還元します。

1月31日(水)には、南島原市と西南学院大学博物館の合同記者会見と内 覧会を行い、特別展の趣旨や見どころを説明します。

※展示会場にて南島原市所蔵以外の資料の撮影・掲載・放送を行う場合、 画像提供を受ける場合は、各所蔵先へ申請をお願いします(資料2)。

記

#### 《特別展》

会 期 2月1日(木)~3月4日(日)

場 所 口之津図書館3階ホール

開館 10時~17時 ※ただし毎週金曜日は正午~17時

休 館 毎週月曜日

## 《記者会見》

日 時 1月31日(水)10時30分~正午

場 所 南島原市口之津図書館3階ホール

出席者 南島原市教育長 永田 良二

南島原市教育委員会文化財課長 松本 慎二 教育委員会文化財課文化財調査員 南浦 利早 西南学院大学博物館長 後藤 新治

西南学院大学博物館 学芸調査員 野藤 妙

担当部署	教育委員会文化財課	担当者	南浦	利早
直通	0957-73-6705	E mail	bunkazai@	city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ®		検索ワード		
担当者 連絡先	090-1722-5157			

平成30年1月31日(木) 10時30分~

# 南島原市•西南学院大学博物館連携特別展 報道発表資料

## ●連携特別展概要

•特別展名 島原大移住一戦乱の終わりから復興へ一

•会 期 平30年2月1日(木)~3月4日(日)

会場 口之津図書館(〒859-2504 南島原市口之津町丙2092-1)

開館時間:10時~17時

\*ただし毎週金曜日は正午~17時

休館日:毎週月曜日

駐車場:ロ之津公民館の駐車場をご利用ください(約70台駐車可能)

・展示内容 島原・天草一揆後の島原と天草の復興における他地域からの人びとの移住について、古 文書や絵図26点から紹介

展示資料所蔵・提供先

大分県立先哲史料館、大村市立史料館、熊本大学附属図書館、熊本大学永青文庫研究センター、公益財団法人永青文庫、西南学院大学博物館、徳島大学附属図書館、徳島県土 庄町教育委員会、長崎歴史文化博物館、山口県文書館

## ●見どころ

本特別展のテーマは、"島原・天草一揆後の移住"です。一揆後の移住に関する文化財を一挙に公開、展示するのは、長崎県下でも初となる試みです。江戸幕府から熊本藩や豊後高松藩に出された移住令の原本や、移住に奔走する各藩のやり取りの記録、書状を展示し、島原と天草の復興に向けた人びとの想いや実態のなぞを実際の古文書や絵図から紐解きます。

中でも、大村藩からの走百姓(許可を得ないまま勝手に移住・移動した人びと)の人数を書き立てた 古文書は、当時の戦後復興の実態を生々しく伝えています。この他、豊後高松藩から9人の移住者を受 け取った際の島原藩の受け取り証は、移住における手続きの様子をよくあらわしており、見応えがあり ます。さらに、平成28年度に新発見された「南蛮流医薬書」と「阿波郡新開見付之帳」も初公開しま す。

2月17日(土)には、熊本大学文学部付属永青文庫研究センター長である稲葉継陽教授の講演会を 開催いたします。テーマは「近世初期の百姓と統治権力―島原一揆後の地域復興をめぐって―」です。

今まで知られていなかった資料などを用いながら移住の実態、当時の社会状況をお話いただきますので、ぜひお越しください。

#### ●特別展関連公開講座

日時:平成30年2月17日(土)14時~16時

場所:口之津公民館2階講堂

題目:近世初期の百姓と統治権力一島原一揆後の地域復興をめぐって一

講師:稲葉 継陽氏(熊本大学文学部附属永青文庫研究センター長)

備考: 聴講無料

## ●ギャラリートーク

内容:担当者(南浦)から、展示資料の内容や見どころをわかりやすく説明します。

日時:平成30年2月3日(土)14時~16時

場所:口之津図書館3階ホール(展示会場)

備考: 聴講無料

## ●展示資料の撮影について

南島原市所蔵以外の資料を撮影、画像提供、掲載、放映をされる場合は、所蔵先の許可が必要となります。申請から許可までに2週間程度かかる場合があります。

※詳細は、資料2を参照のこと

# 資料 2

# 資料の撮影、画像提供、掲載、放映の申請について

南島原市所蔵以外の資料の撮影、画像提供、掲載、放映される場合は、所蔵元へ申請し、許可を得る必要があります。特に見どころ資料を以下にあげますので、ご参考いただき、所蔵元へご申請ください。

## ●大分県立先哲史料館所蔵

・「島原天草一揆の後、亡前につき百姓差越さるべき様老 中書 状」 内容:豊後高松藩に宛てた江戸幕府の移住令。ここから各地の大移住がはじまりました。

# ・「百姓請取手形」

内容:豊後高松藩から島原藩へ移住した9人を確かに受け取ったことを記した島原藩の受取証。島原 藩家臣の花押がしっかりと記されています。

※こちらは、撮影・掲載等の事前申請は必要ありませんが、新聞記事等に掲載した記事を南島原市教育委員会文化財課(〒859 - 2412 南島原市南有馬町乙 1023)までご送付ください。

## ●大村市立史料館

・「走首姓還住二付書状」

内容:大村藩では、藩主の許可を得ないまま勝手に島原へ移住してしまう走百姓が1600人規模で発生します。本史料は、走百姓の返還方法について、島原藩が大村藩へ問い合わせたものです。興味深いことに、島原藩の調査によると、加津佐村(現在の南島原市加津佐町)には、300人もの返還対象の走百姓がいると書かれています。なぜこれほどまでに人びとは島原へ移住したのでしょうか?当時の地域復興のなぞが詰まっています。

## 《申請先》

大村市立史料館(長崎県大村市西三城町12)

Tel 0957-53-1979

## ●南島原市教育委員会

・「南蛮流医薬書」・「阿波郡新開見付之帳」

内容:平成28年度に南島原市で新発見された資料です。近世初頭の医術の進展状況がよくわかるとと もに、阿波からの移住を示唆しているものです。

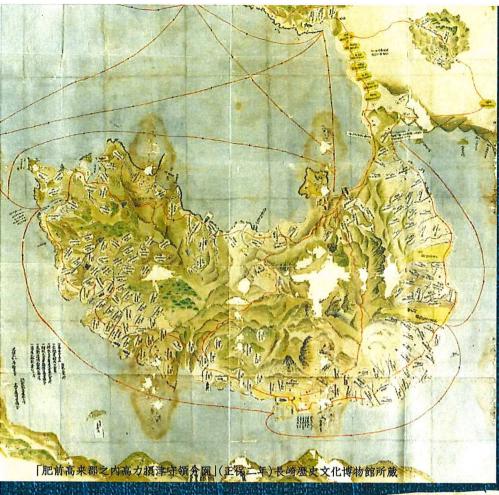
※こちらは、事前申請は必要ありません。

#### ●備考

申請方法や上記の他に撮影等をご希望の資料(展示資料は全26点あります)がある場合は、南島原市教育委員会文化財課までお問い合わせください。

南島原市教育委員会文化財課 南浦 1 0957-73-6705





移住のはじまり

と復興の軌跡を追います。 された古文書や絵図から島原。 どのように復興が進められていったのでしょうか?各地に残 ら人びとが移住し、復興が進められていきました。 で荒廃した島原と天草へ領民を移住させるよう 寛永十九年 (1六四二)、 揆後、島原や天草へどのような人びとがやってきて、 移住令を出しました。これによって各地か 江戸幕府は、 島原・天草/揆 九州や

あゆく父後も手長

名をなるう

島原へ集まったのか

走る人びと 百姓悉く島原へ

中なからできる なるないるを えずるに回るなど まられずる方との たおかったってか れらいいています 一やりいてえると 中級一般を上する しなどある。おいから ころからできる 佐かれ がらなる、公司はない 公正信中京か かんちないかいかのしゃ THE FEBRUARY 日のでいるかんかいま Salatanas 27102

移住 「阿波郡新開見付之帳」(慶長18年)・「南蛮流医薬書」(寛永4年) (南島原市教育委員会所蔵)

【交通のご案内】
バス 島鉄バス「ロ之津」バス停下車 徒歩 1 分
船舶 島原外港下船 島鉄バス「ロ之津下車」
ロ之津港下船 徒歩 1 分
車 国道251号線 南島原警察署方面

※口之津公民館へご駐車ください。 (普通車最大73台駐車可) 新発見! 初公開!! 阿波国からの移住?

